

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)学校給食センター新築等工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	Q1		Q2		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q1 建築物の環境品質						2.5
1 音環境		3.2	0.15	-	-	3.2
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	-	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	
1.3 吸音	壁、床、天井のうち二面に吸音材を使用している。	4.0	0.20	-	-	
2 温熱環境		1.7	0.35	-	-	1.7
2.1 室温制御		2.5	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.38	-	-	
2 外皮性能		1.0	0.25	-	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		3.3	0.25	-	-	3.3
3.1 昼光利用		3.6	0.30	-	-	
1 昼光率	2.0% ≤ [昼光率] < 2.5%	4.0	0.60	-	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-	
1 昼光制御		3.0	1.00	-	-	
3.3 照度	照度が500lx以上1000lx未満。	4.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境		3.2	0.25	-	-	3.2
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	4.0	1.00	-	-	
4.2 換気		3.3	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能	自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上。	4.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理		1.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		1.0	1.00	-	-	
Q2 耐久性・信頼性		2.9	0.30	-	-	2.9
1 機能性		3.0	0.40	-	-	3.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	0.33	-	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	-	-	
3 バリアフリー計画		3.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観	事務室の天井高2.7m以上。	4.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペースが執務スペースの1%以上。	4.0	0.33	-	-	
3 内装計画		1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		2.8	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			2.9	0.30		-	2.9
3.1 空間のゆとり			2.8	0.30		-	
1 階高のゆとり			2.0	0.60		-	
2 空間の形状・自由さ		0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3。	4.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
G3 緑化・環境(敷地内)				0.38		-	2.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30		-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性							2.8
LR1 エネルギー				0.40		-	3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		BP _{lm} = 0.55	5.0	0.20		-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化			2.3	0.50		-	2.3
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	
集合住宅の評価						-	
4.1 モニタリング						-	
4.2 運用管理体制						-	
LR2 資源・エネルギー				0.30		-	2.6
1 水資源保護			2.2	0.20		-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60		-	2.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGS使用している。	4.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20		-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70		-	
1 消火剤			-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)		ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用	4.0	0.50		-	
3 冷媒			3.0	0.50		-	
LR3 地球環境				0.30		-	2.8
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物に対して95%。	3.1	0.33		-	3.1
2 地域環境への配慮			2.3	0.33		-	2.3
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1 騒音			3.0	1.00		-	
2 振動			-	-		-	
3 悪臭			-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1 風害の抑制			3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制			-	-		-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70		-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	

CASBEE-建築(新築)2016年版

(仮称)学校給食センター新築等工事

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-													
1.3.1 維持管理に配慮した設計	4.0		○				○		○			○			
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0				○			○				○			
2.4.1 空調・換気設備	-		○												
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	○											
2.4.3 電気設備	1.0					○									
2.4.5 通信・情報設備	1.0				○										
Q3 数地外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	2.0								1.0		1.0				
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0											
3.1 地球性への配慮、快適性の向上	1.0							1.0							
3.2 敷地内温熱環境の向上	1.0			1.0											
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-														
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-														
2.1 材料使用量の削減	-														
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-														
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○												
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	2.0		1.0							1.0					
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0		1.0										
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	1.0			1.0											
3.2.2 砂塵の抑制	-														
3.3.1 屋外照明及び屋内照明の立ち昇る光への対策	2.0				2.0										

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η)	-
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	ηAC
窓システム	2.4%	ηAH	-
自然換気有効開口面積率	7.0%		

3.1.1 屋光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

3 設備システムの高効率化

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

執務スペース	.0㎡/人	病床	.0㎡/床	シングル	.0㎡ ツイン	.0㎡	
コンセント容量	0.0 VA/㎡						
天井高	2.7 m						
リフレッシュスペース	71.3%	レストスペース	0.0%				
想定耐用年数	0 年						
想定必要間隔	0 年						
想定必要間隔	0 年						
想定必要間隔	0 年						
階高	0 m						
壁長さ比率	20.0%						
床荷重	- N/m2						
外構緑化指数	8%	建物緑化指数	0%				
空地率	44%	水平投影面積率	0%	地表面対策面積率	3%	舗装面積率	40%
BPI/BPI _m	0.59	断熱等性能等級	対象外 相当				
自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	0.0%	採光を満たす住戸数	0.0%		
		通風を満たす教室数	0.0%	通風を満たす住戸数	0.0%		
BPI/BPI _m	非住宅 0.93	住宅	-	太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW
						蓄電池	.0kW
雨水利用率	0.0%						
特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-		
使用比率	0.0%						
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)					
オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	3				
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)					
見付面積比	488%	隣接間隔指標Rw	0.05				
地表面対策面積率	3.0%	屋根面対策面積率	0.0%	外壁面対策面積率	0.0%		
見付面積S _b	758㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	97.16 m	基準高さH _b	1.6 m		
緑地	114㎡	水面	㎡	保水性対策面	㎡	高反射対策面	㎡
						再帰性反射対策面	㎡